

病院長への手紙に対する回答(R6.2.5回収分)

番号	手紙の主旨	対応状況
9578	2度の手術で大変お世話になった。整形外科、形成外科の先生の深い愛情あふれる治療に心打たれ、全て前向きに考えることができた。そして、看護師の皆さんの行き届いたお世話を受け、感謝の気持ちでいっぱいである。先生方皆さんの優しい笑顔に不安な気持ちも一掃され、職員の皆さんも患者の気持ちにそって尽くしてくれ、入院生活が幸せに過ごせた。	お手紙ありがとうございます。
9579	母が婦人科にお世話になった。不安でいっぱいだったが、看護師さん、外来の受付の方、皆さんの温かさに触れ助けられた。たくさん患者さんがいる中、外来受付の方は、「〇〇さんどうされましたか」と、付き添いの私まで名前と呼んで優しく声を掛けてくれ、ありがたかった。辛いことがたくさんあったが、こういう方がいてくれただけで、心が救われた。	お手紙ありがとうございます。
9580	血液内科の先生方に、いつも処置や治療方針等を考えてもらい、本当にありがとうございます。主治医の先生に何度助けてもらったか分からない。熱心で一生懸命で、常に熱意があり、高い技術の方と出会えたことが幸運である。病気や数値だけでなく、私自身を見て治療や冷静な判断をしてくれており、尊敬と感謝しかない。治療方針についても、1つだけでなく、2の手、3の手まで考えてくれ、頼もしい限りである。技術面でも、痛くもなく、早い処置であっという間に終わり、高い技術によって嫌な処置も安心して受けることができる。病棟の医師の皆さん、看護師さん、助手さん、清掃の方、リハの先生、緩和ケアチームの先生をはじめ、関わってくれた方は、素晴らしい方々だった。別の病棟に入院した際も、看護師の皆さんは一人一人素晴らしい方で、助手さん、美味しい食事もありありがとうございました。この素晴らしい雰囲気を作ってくれたのは、師長さんの人柄と方針のおかげではないかと思う。素晴らしい医療と看護をありがとうございました。	お手紙ありがとうございます。
9581	初めての入院でとても緊張し、不安だったが、優しく丁寧にしてもらえ、不安等も和らいだ。	お手紙ありがとうございます。
9582	治療の後遺症かもしれないが、痰がちょこちょこ出る。また、食事も食べられるが、最後が少し残ってしまいむせながら出す状況である。周りの人に不快感を与えることもあるが、理解をお願いしたい。	患者さんの症状等を見ながら、入院環境の調整を行ってまいります。ご希望等がありましたら、師長にお声掛けください。
9583	点滴のラインに空気が入ったが、点滴を替えた看護師はラインの中の空気を確認せず、新しい点滴につなげ、点滴を落とし始めた。そして、何の説明もなく去って行った。少しの空気なら身体に入っても何の影響もないのだろうが、何も説明しなかったことにすごく不快な思いをした。	この度は不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。十分な説明のもと援助を行うとともに、一人一人の思いに寄り添った対応ができるよう心掛けてまいります。貴重なご意見ありがとうございました。
9584	抗がん剤治療でトラブルが出たため電話したところ、電話対応した女性看護師は上からものを言うように、矢継ぎ早に患者をお払い箱にするような言葉だった。心身ともに弱っている人間に対してする態度として如何なものか。弱ってなくても不快で辛く、二度と関わりたくない。恐怖である。	この度は辛い思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。患者さんやご家族は様々な不安や思いを抱え、過ごされていると思います。その不安が少しでも軽減するよう、一人一人に寄り添った対応が必要でした。貴重なご意見ありがとうございました。